

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人穎娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里（かざり）
着任日	令和 2 年 2 月 1 日

活動月	令和 3 年 12 月（着任 23 ヶ月）
主な活動	1. 錦江町、阿久根市、薩摩川内市を現地見学 2. Oculus Quest2 を使った VR 体験をサポート

1. 錦江町、阿久根市、薩摩川内市を現地見学

協力隊として迎える 2 度目の 12 月でした。今月は鹿児島県内への自治体に直接足を運ぶことが多かったです。1 カ所目は錦江町。現地で活動している協力隊が経営する「ゲストハウスよろっく」に一泊しました。立ち上げの際のクラウドファンディングで支援したことがあったものの、直接現場を見るのは初めて。協力隊と地元の若い人が入り混じって店頭に立っていたり、宿泊や飲食機能があったりと、地域拠点として多くの人が足を運んでいるようでした。また廃校を活用した協力隊のオフィスも見せていただいて、大変刺激になりました。



阿久根市では駅構内を見学し、今後活用予定の空き物件も見せてもらいました。また協力隊が立ち上げに関わった「きてん」と呼ばれる一棟貸しの宿にも足を運びました。帰りには川内川の近くにある大型の倉庫を活用した施設「SOKO KAKAKA」を見学。いずれも地域資源×豊富なアイデアで、穎娃町での活動にも活かせる部分が多いと感じました。

地域おこし協力隊活動報告書



2. Oculus Quest2 を使った VR 体験をサポート

Oculus Quest2（オキュラスクエスト）という VR 機器をご存知でしょうか？ 最近はネットだけでなく、電気屋さんでも目にするようになっていますが、ローカルでは体験する機会が少ないということで、中・高校生向けの体験会が南九州市で開催されました。私は機器のセッティングや準備、後片付けなどを担当。

下の画像は体験会の前のリハーサル風景で、スマホに映っているのは奥で VR を体験している人が実際に目にしている風景です。



VR に触れるきっかけとしてはゲームや映像視聴が多いようですが、世界的にはビジネスの場面で使われることもあります。昨今はオンライン会議システムが一般的になっていますが、今回体験会に参加した中・高校生が社会していく頃には、VR 機器の活用も一般的なものになっている可能性が高いです。“知っている”と“体験したことがある”の間にある差を埋めるような貴重な一日だったように思います。